



R5新生★富士見小学校キャッチフレーズ【Challenge & Improve (挑戦と改善)】

ALL FUJIMI

飯能市立富士見小学校
令和5年度学校だより
第4号
文責：



まだ書かぬ七夕色紙 重ねあり

高浜 虚子

一日遅れの開催となった運動会。それでも子供たちは練習の成果やクラスの友達との絆の強さを発揮し、一生懸命取り組む姿に日々の成長を感じました。保護者や地域の皆様方、転退職された先生方…多くの皆様の声援も子供たちの頑張るエネルギーとなりました。ご来校いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。1学期の終業まで残り3週間。充実した学期となるよう、最後まで努力を続けましょう。

《開校49年目》6月28日は、富士見小学校の開校記念日です

富士見小学校は、昭和47年（1972年）の4月に飯能第一小学校の分校として設置されました。その3年後の昭和50年（1975年）4月1日に校名を〈飯能市立富士見小学校〉と定め、開校（校舎使い初め式）しました。児童数694名、学級数18学級、教職員数30名のスタートでした。富士見小のシンボルと言えば“ポプラ”です。創立時には3本のポプラの木がありました。昭和54年（1979年）10月19日の台風で2本倒れたそうです。残念なことに残りの1本も中が腐り倒木の危険があったために切り倒され、切り株だけが残っています。代替わりした今も、切り株には毎年色鮮やかな新芽が青々と吹き出し、富士見っ子の成長を後押ししてくれているようです。来年度は開校50周年目の節目の年を迎えます。今後少しずつですが、富士見小の思い出を発信していきたいと考えています。記念すべき第1回目は“校章”の図案を作成してくださった先生の寄稿を、開校30周年記念誌より抜粋してご紹介いたします。



開校当時、私は飯能第一中学校の美術教師をしていました。一中の卒業生でもあり、中学校時代その周辺は富士見ヶ丘という地名で、広々とした大地に富士山がよく見えていました。まわりの家は少なく、一中の門に入って校舎につくまで、ポプラ並木の通路を歩いて5分はかかったと思います。一中の敷地に市役所ができ、富士見小ができ新しく周辺もたくさん家ができて手様子が一変しました。当時、富士見小学校の初代校長先生から飯能を描く会の時、校章についての話が出て、その後依頼がありました。当時マークのデザインに興味があり、特に日本の紋章は大好きでした。外国人デザイナーが、「日本の紋章は、どこを切っても美しい」と言っていたことは今でもおぼえています。日本の紋章は種類が多く、単純化されたデザインは世界に誇れるものです。富士見小の校章をデザインするにあたり、紋章の組み合わせを重視して、富士山の構成をしてみました。

それから49年。富士見小学校は、保護者や地域の皆様に愛され温かいご支援をいただきながら、現在までに5,130名（令和5年度末現在）の富士見っ子を送り出してきました。現創立49年目の誕生日をみんなで祝うとともに、これまでの先人たちの教育に対する熱意に思いをいたし、「かしこく なかよく たくましい富士見っ子」の育成のために、教職員一同、今一度決意を新たに、節目の年に迎えるのにふさわしい学校を創造してまいりたいと思います。これからも学校・保護者・地域の皆様が心をつなげて、富士見小学校の歴史を刻んでいけるように願っています。



ご協力をお願いいたします

1 連絡先の再確認について

今後も感染症が疑われるような症状（発熱や腹痛、咽頭痛や咳、下痢等）やケガ等により、お迎えをお願いする場合があります。電話番号や職場の異動等、連絡先に変更が生じた場合は、速やかに連絡をお願いいたします。

2 冷房使用時の暑さや寒さへの対応について

冷房を使用する時間が多くなってきました。お子さんの体質に応じた衣服の調整をお願いいたします。

ボランティアを募集しています

富士見小では【学びの共同体】の理念に基づいた学校づくりを推進しています。そのためには、保護者や地域の皆様のご支援が不可欠です。現在、下記ボランティアを募集していますので、ぜひお力添えをお願いいたします。

- 読み聞かせ ○緑と花 ○ミシン ○昔遊び
- 開校50周年記念事業 ○登下校の見守り
- ★詳細は、学校までお問い合わせください。